令和6年度 公文書開示(2月決定分)

	和6年度 公	<b>义</b> 書用不(	<b>4月次正プ</b> ) 	決定区				(根拠規定)条				) \$	条例7条			
月整理番号	請 求 年月日	決 定 年月日	公文書の件名	総 枚 数	開示			存否応答拒否						8 号	子 不開示理由等	所管局部課等
1	R7. 1. 23	R7. 2. 6	懲戒免職処分に関する総務局人事部の対応の正当性の根拠となる全ての公文書(規程・手引きなど)					1	1						(条例第7条第2号) 特定の個人を識別することができるもの又は 特定の個人を識別することができないが権利 利益を侵害するものであるため	総務局人事部 人事課
2	R7. 1. 29	R7. 2. 7	懲戒免職処分に関する総務局人事部の対応の正当性の根拠となる全ての公文書(規程・手引きなど)					1	1							総務局人事部 人事課
3	R7. 2. 13	R7. 2. 27	・期日経過記録(令和6年11月7日) ・判決書(東京高裁令和7年2月13日判決)	30		1		1	1	1	1	1	1		(条例第7条第1号) 法令の定めるところにより、公にすることができないと認められるため (条例第7条第2号) 個人に関する情報であって、特定の個人をついるできるものの人をであるしたが、含むいでもないであるというできるものであるとはないできるとはないできるとはないであるとはないであるとはのをできる。 (条例第7条第3号) 法人等の事業運営というではより認めているというできるもの(条例第7条第4号)で、はいるというではないがよりによるといるので、またの事業の事業をある。 (条例第7条第4号) の条第4号)の場合によるをの、条例第7条第6号) おいるためのであるというでは、というできたがあるというである。 (条例第7条第4号)の場合によるをのであるとのであるというできたがある。 (条例第7条第6号) は、というでは、というできたがあるというできたがある。 (条例第7条第6号) は、というできたがあるというできたがあるとのである。 (条例第7条第6号) は、というできたがあるというできたがあるとのである。 (条例第7条第6号) は、というできたがあるというできたがある。 (条例第7条第6号) は、というできたがあるというできたがある。 (条例第7条第6号) は、というできたがある。 (条例第7を)) は、というできたがある。 (条例第7を)) は、というできたがある。 (条例第7を)) は、というできたがある。 (条例第7を)) は、というできたがある。 (条例第7を))	総務局総務部法務課
4	R7. 2. 19	R7. 2. 28	小笠原支庁(母島除く)に勤務する全職員の名簿												請求された公文書については、条例第18条第2 項に規定する「インターネットによる公表情 報 等」に該当する公文書であるため	総務局人事部 人事課
5	R7. 1. 9	R7. 2. 28	裁決書(2総総法査第962号及び同第963号) 裁決書(3総総法査第531号及び同第532号) 裁決書(4総総法査第3号及び同第233号) 裁決書(4総総法査第232号及び同第233号) 裁決書(4総総法査第284号) 裁決書(4総総法査第316号) ただし、以下の情報を除く。 1 特定の個人・法人・団体の氏名、名称及び住所並びにこれらを特定できる情報 2 納税者の保有する不動産等の所在地、家屋番号、建物番号及び納税通知書番号等特定 の個人・法人・団体を識別できる税務情報 3 本税額、滞納税額、延滞金額、差押財産の内容等特定の個人・法人・団体を識別する ことはできなくても、公にすることにより、なお当該個人等の権利利益を害するおそれが ある税務情報	96	1											総務局総務部 法務課